



第135号

発行所 上高井教育会  
 発行人 上高井教育会長 竹前稀市  
 編集人 会報編集委員長 勝山一男  
 印刷所 須坂新聞社

## 特集

## 継続実践の発表

第十一回研究発表会  
第十回女教師研究大会

十二月二日(土)、須坂小学校視聴覚室において、全員百十余名参加のもとに、第十一回研究発表会が開催され、本年度も三名の先生により発表がなされた。  
 十一月二十五日(土)には、女子会員百余名の参加によって、同じ須坂小学校視聴覚室を会場に、多くの会員の展示作品のなか、第十回女教師研究大会が開催された。

本研究発表会は、会員の普段の研究発表を公表することを通して、自己錬磨に努め、会員相互の資質の向上に寄与するべく役割を担っている。

今年度も昨年度同様、持ち時間を一人三十分として、三名の先生に発表いただいた。発表者は「成長期のスポーツとその周辺」清水真先生(高山中)、「海外研修で学んだこと」成田茂先生(須坂小)、「米子不動信仰の一考察」涌井二夫先生(日滝小)である。

清水先生は豊富な資料をもとに、子どもたちの運動について普段我々が見落している点を、明確に説明された。成田先生の発表は三十日間にわたる海外研修での体験を、学校視察を中心に多くのスライド

を用い説明し、我々の視野を広げるものであった。また、涌井先生は豊富な取材を元に、身近でありながら未知の部分も多い米子不動について、貴重な場面をスライドで説明された。熱心な発表の姿に聞く者思わず引き込まれる発表会になった。

一方、女教師研究大会は、書・画・手芸・生け花・焼き物・被服など五十点以上の会員の作品に囲まれて、「人間の性豊かな児童・生徒を育てるために、私たちはどのようにしたらよいのか」子どもの理解を通してのテーマのもとに開催された。

委員会報告の後、「子どもたちとともに」教員生活を振り返って」と題して、宮川

まゆみ先生(常盤中)の発表があり、その他の会員から日頃の実践報告がなされた。また、児童福祉に長年携わっている山崎健治先生に「現代っ子の負わされているもの」という題で講演いただいた。講演の中で山崎先生は、問題をかかえる子どもの増加について、子どもを追いつめる現代社会の状況と、その中で母親も追い詰められていることを指摘され、解決には母親の社会的成長に大きな力がある、父親の役割も関連させながら説明された。

一、心身の発育・発達の特徴とスポーツ活動  
 この期の子どもは心身の変化が激しく、アンバランスで不安定な状態にある。したがって外からの刺激に敏感に反応し、その影響をストレートに受けやすい。それ故、体育の授業や部活動はもちろん、社会体育での種目別スポーツ教室等においても、どういった活動(基本方針・内容・方法等)をするかが非常に重要になってくる。このことは裏返せば我々大人の責任、指導者の問題でもある。

二、スポーツ活動を実施する上での原則・留意点

基本的には「心・技・体」ともに調和のとれた全人的スポーツ人の育成」をめざして、近代スポーツ、トレーニングの原理、原則に基づいて活動すべきである。

留意点としてはいろいろ考えられるが何と云っても「活動内容・方法が身体発育・発達に合っていること」である。

特に年代と体力の発達との関係を考えて場合に小学校の先生方をお願いしたいことは

## 成長期のスポーツとその周辺

清水 真



中学生は鍛える年代」と言われてきたが、土台(幅広い運動体験とそれによる調整力)がしっかりしていないと鍛えるにも鍛えようがない。小学生期における調整力の十分な養成、伸長はまさに子どものその後のスポーツ活動の充実・発展に直結する。

三、スポーツ活動をとりまく諸問題

本来、スポーツは人間にとって非常に魅力と価値のあるものであるが、近年その持つ問題点もいろいろ指摘されてきている。

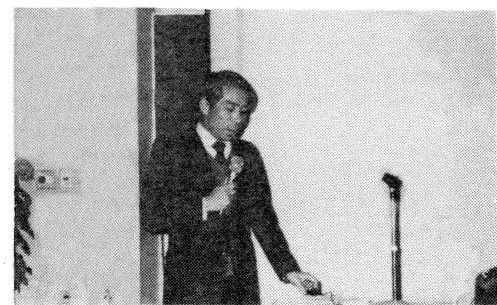
それは①燃え尽き症候群や勝利至上主義等に代表される「心のひずみ」と、②スポーツ外傷・障害に代表される「体のひずみ」の二つに大別される。

成長期のスポーツ障害の大部分は「使い過ぎ症候群」とも呼ばれているほど、無理あるいは長期間にわたって身体の特定位位を使い過ぎることによって引き起こる痛みや部位の変形、機能障害であり、対応の方法を誤ると完治は難しく、その子のその後のスポーツ活動はもとより、日常生活や将来の進路にまで大きく影響をおよぼすこともある。したがって子ども自身も親も指導者もその発生の原因や背景をきちんととらえ、できるかぎりの予防対策を考えてとりくむことが大切である。

(高山中)

五月十一日より六月九日まで  
の三〇日間、ルーミアニア・  
イタリア・アメリカ合衆国  
(コネチカット州)の教育事  
情を視察する機会に恵まれて、  
個性を生かし伸長する教育  
のあり方。  
○児童生徒の余暇利  
用。  
の二つのテーマを  
設けて、研修して来  
ました。  
へルーミアニア  
社会主義国家では  
あるが、歴史的に古  
くから高い政治と文  
化を持ち、素晴らしい  
文化遺産も数多く  
残されている。産業  
は農業国として、東  
ヨーロッパの穀倉地  
帯であり、農業の集  
約化が進み、コルホ  
ーズが完了している  
が、方法的には十分  
改善されていない面  
も見られた。最近で  
は工業にも力を入れ、石油の  
生産も多く化学工業も盛んで  
ある。

教育制度については、小中  
各四年で午前は小学校、午後  
は中学校の二部制をとってお  
り、高校はリセと呼ばれ、第  
一・二課程(各二年)があり、  
第一課程までが義務教育にな  
っているが、今年度より第二  
課程まで義務教育になる予定  
である。



小学校二校と高校一校を参  
観したが、それぞれに授業を  
受けている子どもの表情は明  
るく、人なつこい面を感じた。

## 海外研修で学んだこと

成 田 茂

社会教育のピオニヤの家での  
活動と学校教育がうまく調和  
していて、子どもの能力の向  
上に役立っている感じを受け  
た。  
ヘイタリア  
小学校五年、中学校三年の  
八年間が義務教育で  
後はリチエオと呼ば  
れている教養を目的  
とする高校から、職  
業訓練を主眼とする  
技術学校、職業学校  
など様々な学校があ  
る。小学校は年間二  
百日、週二四時間の  
普通タイプの学級と  
週四〇時間のフルタ  
イムの学級、二八  
三六時間の特別カリ  
キュラムの学級とが  
あり、どのタイプを  
選ぶかは親の判断で  
あるという。家に帰  
ってからのは家庭の  
責任と割り切っ  
ている面もあり、家  
庭での責任も大きいように感  
じた。それぞれの学校では独  
自性を生かして、比較的自由  
な教育活動をしており、ある  
学校のクラスでは「不思議な  
国のアリス」の本をテーマに  
合科総合的学習を進めていた。  
学校のプログラムは子どもに  
準じて作られ、子どもの可能  
性を最大限生かそうと情熱を  
持って努力している姿に感心  
させられた。  
ヘコネチカット州  
アメリカは連邦制で地方に  
よって差がある。訪問したブ  
リッジポートはかつて工業が  
発達した都市で、そのために  
移民や難民も多く、それぞれの  
学校でも人種的には様々で  
あった。優秀な人材の確保と  
人種の統合を進めるために、  
選抜によって入学させるマ  
グネットスクールが三校あり、  
ハイレベルの教育を進めてい  
る。この学校も他の小学校で  
も、米国語以外の言語での指  
導もされている。アメリカの  
教育の、難しさや教育への努  
力を見ることができた。  
私自身それぞれの国で見る  
ことができたのはほんのわず  
かですが、二言語での教育の  
中でも読みや理解を大切にし、  
個性を伸ばすために情熱を持  
って教育に取り組んでいる様  
子や子どもたちの明るい笑顔  
を見たことによって、これら  
の国で学んだことを今後の教  
育活動の中で生かしていく必  
要があると思うようになった。  
外研修でした。(須坂小)

## 米子不動信仰の一考察

涌 井 二 夫

はじめに 教育会秋の研究  
発表に機会を与えていただき、  
少し米子不動信仰を語らせて  
いただいたことに感謝します。  
しかし語り下手も手伝って序  
論で話が終わってしまい、お  
聴きいただいた皆様にも、私  
にも心残りのことであり、申  
し訳なく思っていましたとこ  
ろ、その論旨をまとめさせて  
いただく機会を再び与えてい  
ただけたことに感謝申し上  
げます。  
私がこの研  
究でつかみ  
たいと思っ  
ていること  
は、米子不  
動信仰が庶  
民信仰とし  
て、今日に  
生きづくこ  
の強靱な信  
仰の姿を解  
明すること  
の中から、  
日本人固有  
の心意、も  
の考え方、  
感じ方とい  
った心の姿を探ることにあり  
ます。  
米子不動さん 米子のお  
不動さんと親しまれ、信仰を  
集めているお寺は、正式には  
滝山米子不動寺といい、真言  
宗豊山派に属するお寺です。  
この寺に詣でて不思議な感  
に打たれることは、参詣する  
人々がかしわ手を打って合掌  
し祈る人と、普通の寺でみら  
れる合掌で祈る人と、二種の



不動威怒明王で、真言脂蔵界  
持明院に配せられる仏様です。  
この仏様は、大日如来が一  
般衆生を救済される時には、  
般若菩薩の姿として表われる  
のですが、あたり前の説法で  
は救い難い剛教難化の衆生に  
対しては、忿怒形の不動明王  
となつて現れる表徳の法門の  
仏様であります。このお不動  
様の姿の童児形、忿怒形、青  
黒色、七苴髻、ひたいの深い  
しわ、半眼、右手の利剣、左  
手のつな、火焰、大磐石等の  
特長一つ一つに、その衆生救  
済の法意が込められている。  
米子不動尊像は、この儀軌  
をめぐりに具象化している仏様  
であります。  
米子不動寺の歴史 このお  
不動様の歴史というと、定か  
でないことの方が多いため  
が、像姿などの分析から、鎌  
倉初期の作品と考えられてい  
る。創建当初から、江戸中期  
に至るまでの事歴は、確実な  
資料がなく不明といわざるを  
得ないが、その後の資料から  
類推して、四阿山を行場とす  
る小泉地方からの修験集団に  
よつて、中世後半には北の沢  
の滝にもたらされていたもの  
が、江戸中期に隆盛した竹前  
氏一族の手で、宝暦四年頃  
には、現在の奥の院の地に堂宇  
が建てられ、多くの信仰を集  
めていた。米子不動の信仰は、  
アニミズムとしての山嶽宗教  
と修験道がその源流であり、  
行者の加持祈禱が待つ修法の  
儀軌が、庶民の信仰を厚くし  
ていった。先に見たかしわ手  
を打って祈願する人々の姿は、  
この山嶽修験における神々人  
を畏れさせ、呪力あるカリス  
マ的性格を持つ、目に見えな  
い神の力への畏敬の残存形式  
に他ならない。米子不動での  
参詣の人々の姿は、いわばこ  
の神仏混淆の姿なのでありま  
す。  
現代米子不動尊霊験記 そ  
して、信仰する人々がどんな  
御利益を体現し、霊験を得た  
か、興味ある米子不動尊霊験  
譚はことかない。又の機会  
を得ることとしたい。  
(日滝小)

# 女教師研究大会委員会報告

副委員長 堀田 美恵子

十一月二十五日、第十回女教師研究大会が開かれた。

委員会の報告は、昨年度までの研究成果をふまえて、「人間性豊かな児童、生徒を育てるために、私たちはどのようなしたらよいか」というテーマで発表した。今年度は、委員一人一人が気にかかっている児童、生徒の記録をもとに、その子どもをどう理解するか、その理解に基づいて、どう手を打てばよいか、それぞれの子どもに応じた仮説を据えて、指導にあたっていくという方向で研究を進めてきた。

委員の実践の事例の一つは、四年生の頃から家のお金を持ち出し、盗みと浪費を繰り返す六年生男児について、その子の実態から、どうしてそうなるのかその原因や気持ちをとらえ、第一の指導仮説を立てた。しかし、その子は全く変容してくれず、幾度も指導仮説に再検討を加えて、新たな仮説をもって指導にあたってきた。的確な子どもとのとらえができた時、子どもは劇的に変わってきたのである。

次の事例は、ささいなことでも、友達から離反し、金銭盗など繰り返し、家では義母に気を使い、我慢している子

どもの変容を見とり、子どもの実態にあわせて指導仮説を立て直して、きちんとした評価の目をもって子どもの変容をとらえていくと指導のあり方も見返すことができ、更に有効な指導仮説が設定できた。これらの事例から、子どもを本当に理解するには、事実をただ見ていくだけでなく、多様な問題点を把握し、その奥深いところにある一番の原因となるものを探り、その根っこの部分に働きかけ、指導仮説を立て、観点をもって指導にあたることの大切さがわかってきた。

次に意見交換では、会員から、日頃の実践を発表していただいた。二年の担任になった当初、教室に入ってもすぐ外へ飛び出したり、机の下にもぐってしまうM児に出会い、学校の様子を家庭に知らせ、家庭との連絡を密にとりあつて、M児が変容した実践。学級集団を乱すM児の言動の先を見とり、生かしていくことで、クラスの中心となって活動できるようになった実践。学級作りに工夫をし、学級が明るく子どもらしい元気な学級になっていった実践などを発表していただき、大変参考になった。

会員の発表では、常盤中の

宮川まゆみ先生に、教師になられてからの十二年間の歩みの中から、体験や貴重な実践を発表していただいた。中学二年生の担任として、生活記録に訴えてくるさまざまな生徒の心をつかみ、暖かく生徒の心によりそって指導されている一端を発表していただき感銘した。講演会では、児童相談所県福祉員の山崎健治先生に、「現代の子の負わされているもの」と題してご講演いただいた。

その中で現代の子に問題行動が増えているのは、共せぎやテレビの影響によって、家庭での親子の触れ合いの時間が減少していること。また、子どもを追いつめるものは、核家族化による未熟な母親、遊びの中で十分子どもが育っていないといった成長環境の変容であること。親の愛情が伝わらないことからくる、孤独と不安にかられる子どもに、どのよう

## 女教師研究大会

### 女教師研究大会の発表

#### 「子どもたちとともに」

宮川 まゆみ

つい先日まで新卒気分でありましたが、よくよく数えてみると、教員生活も今年で十二年目を迎えてしまいました。私の教師としての出発は、南安曇の穂高中学校です。この



ここでは講師として一年間お世話になり、音楽を十八時間、技術家庭科を四時間うけもっていました。私は音楽の教師ではないので毎日危ない無免許運転でした。まずここで考えさせられたことは、多少好きだというくらいで、子どもたちを指導するということは、大変なことであるということです。何をやるにも初めての経験であり、予想がつかないことばかりでした。鏡に向か

って指揮の練習をしたり、何事に対しても精一杯努力するそんな一年でした。

次に赴任した学校は、木造校舎の高甫小学校でした。ここでは、一、二年生の学級担任をいたしました。学年主任の先生は、五十才を過ぎたベテランの女の先生でした。何をしても隣の学級がよくできくやしいと思いました。ここはやはり先輩に学び教えてもらうことが一番と思い、いろいろと教えていただきました。体力には多少自信があった私は、子どもたちと毎朝マラソンをしました。喘息の女の子も、いたずらっ子のゆうちゃんもみんなついてきてくれました。若さだけでもついてきてくれるのです。体力も若さも大切な指導の力なのです。

三校目は、主人との関係もあり、佐久の臼田小学校でした。特殊学級の担任になった私は、この三名の子どもたちとどんな力を身につけてやろうか考えました。まず基本的な生活習慣を身につけることを第一とし、次に生活に必要な時計の読み方、数の数え方、カレンダーの見方、お金の数え方を学習しながら、学級園で花を咲かせ、魚を飼ったりしました。この子どもたちと過ごす中で、健常者でない子

どもをもつ親の悩みが多少わかり、どの子もみんな大切な人間であり、一人ひとりを尊重しなければいけないのだということを感じました。

再び上高井にもどり、東中学校では、技術家庭科の担当と副任という立場で五年間お世話になりました。二十代後半より三十代を越える頃になりますと、いろいろな役がまわってきます。郡の研究委員、信教の委員、組合の役員等、自分の意志に反して次から次ときました。断るわけにもいかず、できるだけのことをやってきました。今考えてみますと、忙しい思いをしたり苦労は多かったですが、いやと言わずに引き受けてきたことが、自分の力となってきたように思います。

そして、昨年より常盤中学校にお世話になっていました。どういうわけかこの四月より二年生の学級担任となり、また一段と忙しい毎日が始まりました。子どもたちが毎日書いてくる生活記録は、様々な内容があり、中学二年生という複雑な心境が表れています。今まで大した問題もなく半年が過ぎました。これも私のまわりで指導してくださった先生方のおかげと、家庭の皆様のご協力の賜と感謝しています。日々、ゆとりのなきに嘆きながらも、少しでも子どもたちとお説教ではない会話ができればよう、また一人ひとりの良さをみつけるために頑張りたいと思います。

(常盤中)

# 海沼 正典

ここには紙面の都合上、貴重な内容の一端だけを記すにとどめさせていただく。高山中、清水先生の発表では、特に中学校で部活動にかかわる者は、運動生理について科学的な知識をもつ一方、心理的な面においても研究が必要であることを痛感させられた。また、須坂小、成田先生の視察報告では、各国の学校の様子が、国の事情などを踏まえて紹介された。奇しくも十二月二日は、東欧の民主化運動が盛り上がりつつあるなか、米ソの首脳会議がマルタ島で

## 参加者の声

### 研究発表会 女教師研究大会

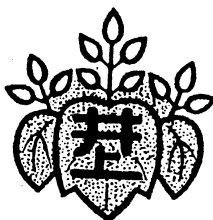
#### 西澤みつ子

第十回女教師研究大会に参加させていただき、学ぶところが多くありました。常盤中の宮川先生の発表では、生活記録を通しての、生徒との心の触れ合いの素晴らしさを感じました。子どもの本音を、しっかり受けとめ、その子の心に届く言葉を、先生が心をこめて書いていらっしゃることに、自らの人間性を深く見つめなおす機会を、子どもたちが与えてくれていることに気づかされます。続く山崎先生の講演では、「子どもも未成熟で、先生は

行われたその日だっただけに、世界の中の日本を考える、大変よいきっかけを与えていただいた。最後に日滝小、涌井先生からは、「米子のお不動さん」として親しまれている滝山米子不動寺について、その歴史的背景、また不動信仰そのものについても貴重な発表をいただいた。特に大日如来と不動明王についてのくだりは、我々救いがたい衆生には、誠にありがたいお話であった。いずれの発表も、参加者のものの見方、考え方に変化をもたらすに十分なものであったように思う。(墨坂中)

## 校章・校歌めぐり ⑥

### 井上小学校



本校の校章は、五・三の桐の紋章の中央に「井上」の文字を配した優雅なデザインで成立っている。この桐の花を校章として用いられたいわれは、この上高井地方で文字に表現された唯一のもの、謡曲「柏崎」に一節「……子故に

んびものと思われる。また桐は昔から鳳凰の住む木として尊ばれた天子の袍や調度等に紋様として用いられ、そして花は平和のシンボルとして多くの人々から愛されてきている。この校章は昭和三十八年、管理校舎落成祈念の際、校歌と同時に制定されたものであります。



かけているのです。いつも胸には進取の気性よく考えてやりぬく誇りと歌われ、子ども達への願いは、学校目標として「思いやりがあり、自分で考え、やりぬく子。」に位置づけています。今年度から、この校歌に振付けをして運動会での全校ダンスになりました。またひとつ、今までと違った校歌の魅力を感じながら、踊る子ども達の笑顔がさわやかに秋空に映えていました。

(太田 清)

## 編集後記

暖冬かと思っただけで安心しておりましたら急に寒さが厳しくなり、朝晩とてもつらく感じる毎日になりました。

さて本号では、「第十一回研究発表会」「第十回女教師研究大会」の特集を組んでみました。どちらの会も大勢の参加者と充実した研究発表が見られ、有意義な研究発表会であったと思われまふ。

長かった二学期も終わりに近づき、どの先生方も忙しい毎日を送られていると思います。こうした中、今回原稿を快くお寄せいただいた発表者、参加者の先生方に心からお礼を申し上げます。

良いお年をお迎え下さい。(平野・廣瀬)

## 郷土の文化財 ⑨ 中沢神社の幟

下水内郡豊田村親川



高井鴻山が七十三歳の時に揮毫したと伝えられている。「妙義則神奥」「無事則蓬萊」と記されている。

高井鴻山が七十三歳の時に揮毫したと伝えられている。「妙義則神奥」「無事則蓬萊」と記されている。

身をこがしは、野辺の木島の里とかや。降れどもつもらぬ淡雪の、浅野といふは是かとよ。桐の花咲く井の上の、山を東に見なして……」に因

大らかに広やかに輝く五山 流れる千曲 清らかなこの空気が希望にあふれて花咲き実る我が井上に 伸びゆく我等本校の校歌の作詞は、勝承夫先生、作曲は平井康三郎先生です。全体を通して千曲に向かって広がる井上の地の

健康な この天地と歌われている通り、学校を囲む田畑も、山々も草花も四季の表情を美しく写し出しこの地に育つ子ども達に語り

## 編集後記

暖冬かと思っただけで安心しておりましたら急に寒さが厳しくなり、朝晩とてもつらく感じる毎日になりました。

さて本号では、「第十一回研究発表会」「第十回女教師研究大会」の特集を組んでみました。どちらの会も大勢の参加者と充実した研究発表が見られ、有意義な研究発表会であったと思われまふ。

長かった二学期も終わりに近づき、どの先生方も忙しい毎日を送られていると思います。こうした中、今回原稿を快くお寄せいただいた発表者、参加者の先生方に心からお礼を申し上げます。

良いお年をお迎え下さい。(平野・廣瀬)